広報
はつかいち
No.1190
9
September

意外に思われるかも知れませんが、
廿日市市はバラの産地として
広島県内でトップの生産本数を誇っています。
花の女王と言われるバラ。
今月は、バラの生産者に迫ります――。

特集 産地の誇り―
バラ生産にかける思い ―特集２～9ページ―

バラは人類の歴史に古くから登場し、エジプトの女王クレオパトラもバラを好んだと伝えられている。花言葉は、「愛」「美」「輝かしい」など多数あり、花の色や本数によってもその意味を変える。また、美しさの象徴として、数々の名曲にもその名が使われている。写真は則貞農園で栽培された「ヴァーグ+」。深みのある鮮やかな赤色で、フリル咲きが特徴。